# 子どもたちの明日

Children, Our Future

40周年記念特別号

© 小林正典



# CYR設立40周年記念号 目次

CYK での 14 年間、そしてこれから チャン・スレイ 卒園児調査報告 幼児教育の現場に戻って CYK と成し遂げたいこと ウム・ソパニー 8

#### 40年のあゆみ

大勢で積み重ねてきた CYR の 40 年	いいぎり ゆき	9
子どもたちのモデルとして	チャンポン・プレムチャラット	10
村の子どもたちの成長を楽しみに	チューン・マーチ	11
多くの子どもが学ぶトロピエンスバイ小学校	モム・サムオン	12
働く親を支えるプノンペン スラムの保育所	チェア・キムヒァン	13
夢をあきらめずに	トング・ソヴァンネイ	14
地域での問題を乗り越えて	イェム・ホァン	15
織物の仕事をつづけていきたい	アム・サエ	16
タイの難民キャンプからひらけた今	キナル・ラタナ・ベトゥイ	17
幼い難民を考える会 40 周年記念におもうこと	山極 小枝子	18
大きな災害が起きたとき、子どもたちに安全な居場所を	小林 純子	19
織物事業のボランティア活動	奥山 直子	21
チャリティ・バザー・グループ寄せ書き	グループメンバー7名	22
CYRのこれから	関口 晴美	24
保育活動		26

# CYKでの14年間、そしてこれから

プノンペン事務所長 チャン・スレイ

私はチャン・スレイと申します。あっ という間に CYK (CYR プノンペン事務 所)での仕事は14年目になりました。 2006年に幼児教育の経験がない私は保 育事業の調整員のポジションからはじ め、保育マネジャー、副所長、そして 2015年から所長として働かせて頂いて います。実は私は 1995 年にカンボジア 政府を通して日本の文部省奨学金で3 年間日本に留学させて頂きました。帰国 後何か政府にお返しできるか考えたとき に、給料の安い(\$20ぐらい)公務員 になって、政府の仕事を手伝いながら、 生活のためにはアルバイトをしようかと 思って、教育省にも仕事を申し込んだこ とがありました。ところが教育省の担当 者に\$500を出したら、採用してあげ ると言われました。金もないコネもない 私はその言葉を聞いてから、二度と政府 の公務員になりたいと思わなくなりまし た。代わりに CYR/CYK の仕事でたくさ んの子ども・村の女性をサポートできる ことで、時々難しいことがあっても、誇 りを持ちながら、什事を続けてきました。 会が40周年を迎えるにあたり、関わっ 伝えしたいと思います。

# の幼児教育担当者との関係づくり

1992年と1994年からプノンペン市 で 10 年余り運営してきた地域保育所が ありました。2005年8月に公立小学校 の敷地内に3歳児から5歳児の3教室が 建設され、場所は用意できたものの、公 立幼稚園の保育者が不足していたため 元 CYR/CYK 保育所の先生を推薦し、こ 運営に移行とは言えない状況が続きまし かりました。

26



た。プノンペン市の教育局長に先生を 送ってもらうように交渉しましたが、プ ノンペン市内の幼稚園数と先生数を計算 したら足りているし、遠くからその学校 へ移動したい先生はいないので、先生を 送るのが難しいと言われました。プノン ペンではある幼稚園では先生が多すぎ ますが、ある幼稚園では先生が足りな い、でも平均にしたら、足りていたの です。そう言われて、どうしたらよい てきた事業を通して感じたことなどをお か悩みました。郡の幼児教育担当者に も関わってもらえるようモニタリング・ 技術ミーティングをお願いしながら、 公立幼稚園の支援で気づいた地域 プノンペン市の教育局と交渉を続けま した。6~7年ぐらいかけて、プノン ペン市教育局が小学校の先生に午前中 は幼稚園、午後は小学校で教えるよう にし、給料も追加して払ってくれるよ うになりましたので、2013年にやっと CYK は支援を終了することができまし た。この経験から、州や郡レベルの幼 児教育担当に協力をしてもらうことで、 少し時間はかかりますが、地域が自主 の2名の給与を支援しましたので、自主 運営を継続できる環境が整うことがわ タケオの織物センターからの帰りに寄っ

#### プレイタトウ保育所で経験した支 援のバランス

2017年にバンキアンは半日の地域幼 稚園になりましたが、プレイタトウは1 日保育所として残りました。子どものこ とを考えたらそのまま1日保育所にして よかったのですが、政府からは先生の給 料しかサポートされず、コックさんの給 料は子どもの給食費の余りと貯金の残り を利用したそうです。時間が経つにつれ 貯金もだんだんなくなり、働いて収入の ある親にコックさんの給料として1人 月 10,000 リェル(約 2.5 ドル)出して 欲しいとお願いしました。ところが払っ てくれる親は少なかった。コックさんの 給料にまわせるよう、給食費をちょっと でも減らそうと、プノンペンの友だち にお願いしたら、10袋のお米を頂きま した。だいたい1年ぐらい子どもが食 べられる量です。それでマーチ先牛が1 年間は1日の保育を続けられたので、良 かったと思いました。ところがある日、 てみると、その日はコックさんが用事で

休み、マーチ先生も調子が悪くても休め ない、ひとりで給食づくりもやりながら、 子どもに教えていました。顔を見ると疲 れきっていました。聞いたら、毎日疲れ ている、特にコックさんが休んだとき。 それにコックさんの給料が足りないと き、自分の手当から少し出していると言 います。それを聞いて、親が協力してく れないなら半日にしたらと言ったのです が、マーチ先生はお米がなくなってから じゃないと半日にすることはできないと 答えました。その言葉を聞いたら、私が お米を頼んだことでマーチさんに悪いこ とをしたと感じました。ちょっとショッ クでした。経済的な支援には、それを受 けた側にも責任が生まれます。無理なく みないといけないとわかりました。

#### 教育省との協力事業から得た「村 の幼稚園 | のヒント

就学前教育に参加できるよう 2008 年か 間で 1.000 ヶ所の公立地域幼稚園を開設 しました。公立地域幼稚園は、地区評議 会が場所と保育者を確保し、評議会が手 当てを払って午前中2時間の保育を行い ます。CYR/CYK も全公立地域幼稚園へ、 CYR/CYK の人形、布ボール、子音パズル、 ローアップ・評価の際、CYKの1日保育 事業を変えた方が良いと思うようになり ました。1日の保育所は子どもや親にとっ て重要ですが、お金も人手も掛かります ので、なかなか自主運営に移行できませ ん。地域幼稚園は2時間の教育だけです が子どもの成長に大差はなく、3年間で 自主運営に移行できます。もっとより多 をを与えたいと思い、2011年から半日 



#### 織物事業への思い

女性の経済的自立と伝統文化保存のた めに 1993 年より保育所があるカンダー ル州バンキアン地区で織物事業を開始し ました。私は途中から織物事業に関わり 使える分だけを渡す、というバランスを ましたが、関わった事業はずっと続けた い、関わってきたものはなくしたくない、 最初の目的を実現したい、という気持ち から頑張ってきました。けれどもその目 標に達することができませんでしたの で、とても残念な気持ちです。今年、コ カンボジア教育省は、多くの子どもが ロナウイルスの感染拡大で経営が大変厳 しく、販売が大きな影響を受けました。 ら3年間で450ヶ所、2014年から3年 加えて、政府から販売事業は税務署に登 分がカンボジア人としてなんとか自国の 録し、税金を払うように強く言われた ので、登録はしないで一旦ショップを閉 め、織物事業を教育省との覚書が切れる 前に終了することにしました。せめても の救いは、パラダイズテイラーショップ からの注文で、少しですが一緒に頑張っ 絵本、紙芝居など多くの教材を支援しま てきた織手をサポートできることです。 した。モニタリングと評価も一緒に実施 主にスーンミッチさんにお願いしていま しました。この事業に関わって、特にフォ
すが、化学染料が流行してほとんどの織 手が化学染料を使った織物に転向したと きに、CYK の草木染め織物を続けてく れたアム・サエ織手に什事を与え続け たい。化学染料の染めより草木染めの方 が難しいし、作るのに時間がかかる、しか も収入も少ないですが文句を言ったことが なく、ずっと協力してくれたので、続けて サポートしてあげたいと思います。ピダン くの子どもに教育を受けさせるチャンス クメールショップに良い継承者がみつかれ ば、これまで製品を仕入れてきた織り手や

4

の伝統織物を広めていって欲しいです。

#### これから

今になって振り返ると、こんなにたく さんの活動をすることができたのは自 分でも信じられないほどです。それは CYR/CYK にこの機会を与えて頂き、最 初のとき、素敵な保育専門家に教わり、 日本へ出張したときに日本の方々、特に 会員の皆さんがカンボジアの子どものた めに、色々考えて、色んな活動で資金を 集めていただき、色々なご支援とご協力 をしてくださるところをみるうちに、自 子どもたちのために、出来ることをやら なければと考えながら、14年間 CYK の 活動を離れずに、経験を積みながら、やっ てこられたからだと思います。

これからは、カンボジア事務所をス タッフが CYK の活動にやりがいを持っ て働ける職場にしたい。政府の方針に 沿って、幼稚園、地区評議会、郡、州レ ベルでの連携を強化できれば、保育関係 者の育成、教育の充実につながるので、 積極的に推進してゆきたい。

幼児期は人間の基礎がつくられる大切 な時期であり、幼児教育はとても大事で す。就学前にいろいろな経験を通して楽 しく学ぶことは、成長して国の柱となる 子どもの将来にとっても、国にとっても 大変重要です。だからカンボジアの子ど もが全員、幼稚園に通えるようにして、 将来はカンボジアが本当の意味で発展し た国、平和な国を作って行きたいです。

#### 卒園児調査報告

ジア国内で2種類の保育形態を展開して きました。複数の保育者が朝から15時 ごろまで子どもの保育活動にあたる保育 所と、保育者ひとりで午前中の3時間 保育を行う「村の幼稚園」です。子ども が一日の大半を過ごす保育所は、給食と お昼寝の時間も含めた子どもの成長に最 適な場であり、親たちが安心して働くこ とができる環境を提供してきました。現 在は「村の幼稚園」を開設して地域に移 管する活動に集中しており、保育形態の 変化が卒園児の進学や就業に影響を与え るかを注視しています。まだ「村の幼稚 園 の卒園児は第1期生で13歳であり、 学歴、現在の職業、進学を断念した理由、

幼い難民を考える会(CYR)はカンボ 有意な比較ができる人数が揃っておりま せんが、保育所と「村の幼稚園」の卒園 児に対し保育者が個別に聞き取りを行っ た結果を報告します。

・聞き取り実施時期:2020年2月~3月

連絡した卒園児数:1,991名 ・ 得られた回答数: 1,714名

対象保育所・幼稚園: 表1

#### 1992年~1994年にかけて開設し た保育所4ヶ所

23歳以上になっている卒園児に最終

幼稚園に通ったことをどう思っているか を聞き取りした。

#### 1) 進学状況

グラフ1 最終学歴

表 2 中学/高校/大学卒の割合

#### 2) 現在の職業

グラフク

#### 3) 進学を断念した理由

グラフ3

4) 幼稚園に通ったことをどう思っているか

表 1 保育所・幼稚園の状況

州	幼稚園名	略称	開設年	自主運営 移行年	地域幼稚園の スタンダード 認定年	卒園児数(2019 年までの累計)	連絡した 卒園児数	回答数
プノンペン	チェンメン	CM	1993	2005			166	158
	トロピエンタヌン	TT	1992	2005			194	181
	プムプノム	PN	2013	2016	2018	48	26	26
タケオ	カンダール	KD	2013	2016	2018	56	30	27
	トロピエンクロライン	TL	2013	2016	2018	74	28	26
	プラサート(1クラス)	PS	2011	2016	2018	149	100	87
	プラサート(2クラス)	123	2011	2016	2020	1149	100	07
	タプロム	TR	2011	2015	2019	64	43	41
	バンキアン	BK	1994		2018	374	360	282
	プレイタトウ	PT	1992		2018	467	439	322
	リアンチュウ	RC	2014	2018	2020	102	54	54
カンダール	チュティール	CT	2014	2018	(2018 閉園)	17	15	12
	カオム・サムノルー	KL	2014	2019	2020	124	62	48
	カオム・サムノクロム	KK	2014	2020	2019	121	55	55
	スダオカンラエン・プラム	SK5	2015	2019	2019	75	56	45
	スバイドムナック(4歳児クラス)	SD	2016	2020	2020	11	119	115
	スバイドムナック(5歳児クラス)	JSD			2019	110	]119	
	クランリブ	KrL	2017	2021		17	17	17
	プレチュロウ	PC	2017	2021	2020	55	55	49
	プレクリアン	PR	2017	2020	2019	42	41	41
	プロースナッブ	PrS	2018	2021	2020	46	46	45
	チョー	CH	2018	2021		31	31	31
	クロプープル	KP	2018	支援中		15	16	16
コンポン	バックプノン	BP	2018	支援中		24	15	15
チュナン	トンレクラウ	ToK	2018	2020	2019	16	24	21
	トロピェンクロプー	ТрК	2019	支援中		該当なし	実施せず	
	トクホート	TH	2019	支援中		該当なし	実施せず	
	コンポンバスロータボン	KbT	2019	支援中		該当なし	実施せず	
	トロピエンプリン	ТрР	2020	支援中		該当なし	実施せず	
	ピアムポペッチ	PP	2020	支援中		該当なし	実施せず	

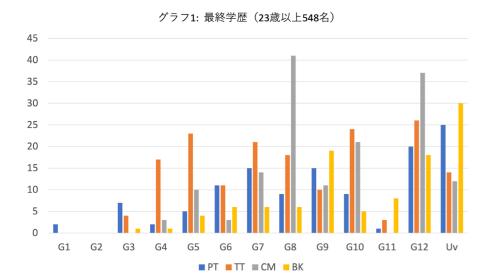
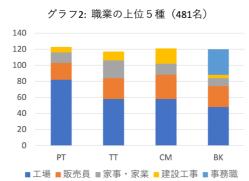
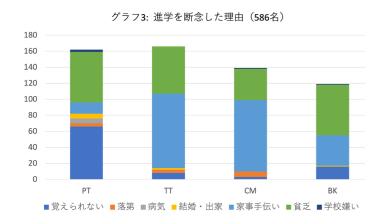
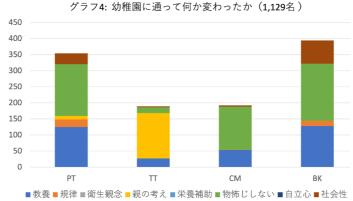


表 2 中学 / 高校 / 大学卒の割合

	中学卒	高校卒	大学卒
プレイタトウ(PT)	12%	17%	20%
トロピエンタヌン(TT)	6%	15%	7%
チェンメン(CM)	8%	19%	6%
バンキアン (BK)	19%	23%	24%







調査結果に表れた保育所・幼稚園ごと の特徴については要因を特定できるデー 夕はありませんが、参考として、地域や 家庭の事情を付記します。

カンダール州のプレイタトウとバンキ アンは保育者の行き来もあり、保育内容 も近く、子どもたちが過ごしたクラスで の環境は類似しているが、家庭環境は異 なっている。バンキアンの保護者は農 民、先生、公務員、事務職が多く、時間 があるときは、田んぼの仕事を行ってい る。教育レベルが高い親が多く、子ども にも教育を受けて体力的に楽な什事につ いてほしいと願っている。プレイタトウ の保護者は商売、縫製工場の労働者が多 く、余暇は犬肉や猫肉をつまみに酒をの

る親もいる。すぐに収入が入ることを優 先し、子どもが働ける年齢になったら近 隣の工場で仕事をさせて、収入を得るこ とを考えている。

・プノンペン市内のチェンメンとトロピ エンタヌンは、開園当初は親の学歴、子 どもの人数が同水準で、稲作とスイカや 野菜の栽培で生計を立てており、親たち は、保育者が子どもの面倒をみて食べさ せてくれれば、長時間働けるので保育所 に預けた。チェンメンは大きな道路が多 く農耕できる土地が狭かったため収穫が 少なかったが、地価が高かったので、土 地を売却して良い生活をおくる住民が増 えた。トロピエンタヌンは道路が狭く土 地が広いので、農作物は豊富に収穫でき み、お金をかけてトランプゲームに興じ たが、土地は売れなかったため、子ども

も家業を手伝う必要があった。しかし、 プノンペン全体の地価が上昇するにつ れ、トロピエンタヌンでも土地を一部 売って勉強が好きな子を大学に行かせる ことができるようになった。一方、チェ ンメンでは、土地を手放した結果、農業 ができなくなり、徐々に生活に困るよう になり、子どもに商売をさせ、縫製工業 で働かせて収入を得るようになった。

#### 2011年以降に開設した「村の幼稚 園」19ヶ所

表3 「村の幼稚園」の卒園児進級状況

「村の幼稚園」の卒園児が今後どのよ うに学業や社会生活を切り開いてゆくか を楽しみに、定期的に、卒業後の様子を ヒアリングしてゆきたい。

謝辞:卒園児調査の結果をまとめるに

あたり、CYK の保育アシスタント、シム・

ダネーさんがクメール語の回答を英訳し

ターンシップに参加した神田外国語大学

の相馬莉々花さんに、文章で回答された 内容を分類し、データシートに落とし込 んでいただきました。正確な作業で根気

てくださいました。また、CYR のイン よく協力していただいたおふたりに心よ り感謝申し上げます。

表3「村の幼稚園」の卒園児進級状況

州	幼稚園名	略称	開設年	2012 年卒	・現在 G8	2013 年卒・現在 G7		2014 年卒・現在 G6		2015 年卒・現在 G5	
				順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数
タケオ	州合計*							18,086	18,712	18,828	19,633
	プムプノム	PN	2013					0	11	1	12
	カンダール	KD	2013					0	7	1	7
	トロピエンクロライン	TL	2013					9	9	10	10
	州合計*			15,462	15,755	18,531	19,165	21,850	22,627	24,539	25,747
	プラサート	PS	2011	5	11	8	29	18	24	17	23
	タプロム	TR	2011	2	5	3	10	1	11	1	13
カンダール	リアンチュウ	RC	2014							19	19
	チュティール	СТ	2014							0	7
	カオム・サムノルー	KL	2014							11	13
	カオム・サムノクロム	KK	2014							15	15
	スダオカンラエン・プラム	SK5	2015								
	スバイドムナック	SD	2016								
	クランリブ	KrL	2017								
	州合計*										
	プレチュロウ	PC	2017								
	プレクリアン	PR	2017								
コンポン チュナン	プロースナッブ	PrS	2018 春								
	チョー	СН	2018 春								
	クロプープル	KP	2018								
	バックプノン	BP	2018								
	トンレクラウ	ToK	2018								

州	幼稚園名	略称	開設年	2016 年卒・現在 G4		2017 年卒・現在 G3		2018 年卒・現在 G2		2019 年卒・現在 G1	
				順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数	順調に進級 中の人数	母集団の人 数
	州合計*			19,233	20,295	18,603	19,920				
<b>4</b>	プムプノム	PN	2013	1	3						
タケオ	カンダール	KD	2013	13	13						
	トロピエンクロライン	TL	2013	7	6	0	1				
	州合計*		25,388	27,162	24,850	27,160	24,666	27,462	25,753	29,530	
	プラサート	PS	2011								
	タプロム	TR	2011								
カンダール	リアンチュウ	RC	2014	10	10	25	25				
	チュティール	СТ	2014	3	4	1	1				
カンタール	カオム・サムノルー	KL	2014	7	10	14	25				
	カオム・サムノクロム	KK	2014	12	10	28	30				
	スダオカンラエン・プラム	SK5	2015	7	12	12	22	8	11		
	スバイドムナック	SD	2016			42	47	29	31	38	39
	クランリブ	KrL	2017					11	11	6	6
	州合計*							11,578	12,580	11,869	13,264
	プレチュロウ	PC	2017					26	31	23	23
	プレクリアン	PR	2017					24	23	17	18
コンポンチュナン	プロースナッブ	PrS	2018 春					17	17	27	28
	チョー	СН	2018 春					12	0	19	31
	クロプープル	KP	2018							16	16
	バックプノン	BP	2018							15	15
	トンレクラウ	ToK	2018							21	21

\*州合計の出典:カンボジア教育省 HP http://www.moeys.gov.kh/index.php/en/emis/3069.html#.X87VBS3CPoc

# 幼児教育の現場に戻ってCYKと成し遂げたいこと

CYK保育アドバイザー ウム・ソパニー

私はウム・ソパニーと申します。 1959年9月25日牛まれです。昨年の 10 月から CYK の保育アドバイザーとし て、「村の幼稚園」のモニタリングや保 育者の研修に参加しています。ポル・ポ ト時代に突入する前、高校2年生でした。 混乱の時期を経て、1980年からコンポ ンチュナン州のドッピーマカラ幼稚園で 先生として働きました。園舎が古くて 危険だったのでベトナム政府の寄付で建 て替えてマタピェアプ幼稚園と改名し、 1983年から10年間、園長を務めました。 2003年に教育省幼児教育局へ転職し、 妊娠している親の教育~3歳前までの子 どもと親の教育をみる幼児教育事務所の 役員、その後、3歳から6歳前の子ども の教育をみる幼稚園事務所の副所長、所 長として退職までの16年間、カンボジ アの幼児教育政策にたずさわりました。 私の経験から、卒園児調査や CYK と共に 進めたい保育支援事業のあり方に対して 感じることを述べさせていただきます。

# 児調査をみて

① 保護者の教育に対する意識が子ど もの進学に大きく影響していると感じま す。きちんとした教育を受けなかった親 の中には教育の大切さが実感できないひ ともいます。将来を考えるというより、 現在の目で見えるものを考えますので、 子どもに勉強させても将来の生活に何の 役に立つか想像しづらいようです。子ど も自身が勉強好きであれば、親の理解と 応援で、家計がちょっと困っても、何と か勉強を続けられるはずです。

② 子どもの住む地域の影響も大きい でしょう。子どもは、仲間が勉強好きな ら、自分も勉強が好きになります。仲間



が遊び好きなら、自分も勉強しないで、 遊びばかりします。地区評議会は、悪い 習慣のある保護者に子どもの教育に関心 を持つように、お酒の飲み過ぎや賭け事・ 麻薬をやめるよう話し、勉強したい貧し い家庭の子どもを支援してあげる必要が ありすす

#### CYKと共に進めたい保育支援事業

子どもが良い人に育ち、良い将来があ るように育つための簡単な方法はないと **プレイタトウとバンキアンの卒園** 思います。いろんな人が関わっていろん なことをやらなければなりません。

- ・まずは必要な文房具、教材、ゲーム、備 品などを準備する十分な予算を付けたい。
- ・ 4 歳児、 5 歳児は年齢にあった教え 方をすると、子ども本人に「活動に参 加し、「考え・リサーチ」、「青仟」な どの気持ちが育まれます。教育省の統一 カリキュラムは、何月何日何曜日にどの 科目を教えるか、何の教材を使うか細か く指定されていますが、地域で手に入ら ない教材もあります。教員養成所を出て いない地域の保育者にはカリキュラムの 専門用語が難しいので簡単な言葉にする など、先生たちが実践しやすいカリキュ ラムを提供したいです。きっと、子ども たちは幼稚園に来るのが楽しく、勉強が

好きになるでしょう。

- ・保育者に必要な研修をした上で、定期 的に技術会議をもち、先生の仕事をちゃ んと評価するつもりです。良い先生、や る気がある先牛を褒めてあげたり、応援 してあげたりします。そしてまだ子ども への対応が足りない先生が良くなるため に、もっと適切な方法を説明し、自信を 持って、先生としての什事を続けられる ようにします。
- 先生はちゃんと自分の役割を理解する と良い先生になる努力をします。特に保 護者とよくコミュニケーションを取り、 良い関係を作ります。そうすると子ども の教育で足りない部分が分かり、すぐ教 え方に反映できます。
- 交流会はとても効果があります。先生 はお互いに勉強し合い、自分の幼稚園を もっと良くしたい気持ちが生まれるの で、毎年やるべきだと思います。
- 子どもの教育に関わる全ての人が協力 し合って、もっと関心を持ち、幼児教育 に関する予算・計画などをよく話し合い ながら、一緒に問題を解決する関係を築 いてゆきます。
- ・地域の住民にしっかり幼稚園のこと、 教育の大切さを説明し、幼児教育に対す る大人の責任、子どもの良い育ち方など を伝えてゆきたいです。

40年のあゆみ

# 大勢で積み重ねてきたCYRの40年

幼い難民を考える会 (CYR) 設立代表 いいぎり ゆき

に近いタイ・サケオ収容所入り口で、泥 まみれの避難民がタイの軍用トラックか ら降ろされていました。熱帯林で地雷死 をまぬがれたカンボジア人です。雨に濡 れ地に伏して誰もが無言です。仮病棟裏 のゴミの山に、食べ物を探すのか、小さ な裸の姿が見えました。

帰国後、タイで見た難民の様子が東京 の「子供の家」に伝わると、家庭で園児 の声に動かされた親たちが、キャンプ生 活に役立つ品々をすぐ集めてきました。 人の苦しみを知り、思いやりを分かつ心 を最初に示してくれたのは、幼い子ども たちでした。「幼い難民を考える会」設 立2ヶ月前の話です。

「汝も吾もおなじ命に生まれきて 不幸 UNHCR が財政難に陥り、施設建設ばかり きわまる汝らが悲し

歌を寄せた秋田の支援者の思いは、人 を大切にする平和への願いそのもので す。そして未分化な心とからだの子ども が、優しさや思いやりのある人に育つそ の姿に励まされる私たちです。潜在力を 存分に発揮できる環境をつくろうとす

1979 年 11 月、カンボジアとの国境 る、一貫した大勢の行動力の記録がここ にあります。

> 「カンボジア人保育者養成センター『希 望の家』が完成しました。カオイダン・キャ ンプ入り後10ヶ月目のことです。保育室・ 作業棟は、難民6万人が暮らすキャンプ奥 手にあります。(中略)「カンボジア難民の こどもたちの教育は、カンボジア人によっ て行われるべき」という国連難民高等弁務 官事務所 (UNHCR) の指針は、CYR の「地 域に根づく保育をカンボジア人の手で」と 同じでした。 発足直後、保育者養成を始 めたこの時期、CYRの苦心は大変なもの でした。当初 UNHCR が建てる予定の養成 センターが、急増した難民の流入、雨期の 難民移動、ベトナム軍のタイ領侵攻などで か、教材制作費も出せない事態になりまし た。しかし「CYRの活動こそ教育の原点」 と賛同する日本の教育団体、社会人、会員 のお陰で施設が完成しました。」

80 年代の CYR は、配給物資が頼りの キャンプで、子どもの「自らを育てる力 を伸ばす | 保育に専念、保育者の養成

> が最優先でし た。『保育の手 引き』や『童話』、 『絵本』を出版。 教材セットは UNHCR を通し て広く配布され ました。保護者 対象の洋裁、織 物、木工作業は 保育支援の一部 でした。同じ頃、 日本では、外務 省の要請で始め

た定住ベトナム難民の子どもの保育に、 カオイダン・キャンプの経験を牛かして いました。

90年代。難民の帰環・キャンプ閉鎖 を見通した CYR は、カンボジア国内に 事務所を開いて政府と保育活動協力の契 約を交わしました。紛争が続くなか、女 手のみの家庭や、学校を知らない親を念 頭に、プノンペン郊外で最初の保育所を 開きました。また見落とされていた国境 周辺タイ被災村で、僻地の保育を軌道に のせたのもこの時期でした。人を育てる 仕事は時間がかかり、資金難は日常でし た。しかしキャンプでの経験は、カンボ ジアの村でも成果を出し始めました。保 育所の届どき、ご飯を平らげた男の子が 小さな肉片をポケットにしまう話。別の 保育所では週一度の給食ゆで卵を持ち帰 り、家族と分ける子の話を聞きました。 無言のうちに心を分かち合える人間の 優しさが、この会を動かしていると感 じました。

40 周年のいま、カンボジアでは公立 幼稚園への保育研修協力が実績を上げて います。さらに村人たちが CYR の後押 しで始めた「地域幼稚園|「村の幼稚園| の自主運営も軌道に乗り始めました。保 育費が払えない親、文字を読めない親も、 子どもの成長の変化に気づき、教育を前 向きにとらえるようになりました。心強 いのは、成人した卒園児たちが CYR の 奨学金を得て保育士になり、地域や国に 役立つ人に育てる、と熱い思いを寄せて いることです。

遠い村々からの「村の保育を地域の力 で| 「人材を育てたい| 「染め織りで暮ら しを良くしたい」の願いが実現し、自主 運営への資金づくりが確かになるよう、 地球規模で子どもたちの明日を考え、力 の出し合いを続けましょう。



© 森枝卓十

## 子どもたちのモデルとして

タイ・パライ村保育者 チャンポン・プレムチャラット

久しぶりに、昔働いていたパライ村の保育センターを訪れました。木造の建物は、老朽化し寂しそうでした。私は、悲しくなって建物の中を見ました。この保育センターでの過去の出来事が蘇ってきました。1982年にライオンズクラブの支援で始まり、最初のときには、子どもの世話をする村の女性二人と3~4歳の子どもが年間30~40人通ってきていました。

村の保育委員会から声をかけられた私は20歳のとき、1991年から働き始めました。当初、村の保育所の先生として働くことがよくわからずとても心配でした。小学校を卒業しただけで、子どもの成長の知識が何もなかったからです。年上の先生がどのように子ども達と一緒に働いたら良いかを教えてくれたのでとても感謝しています。保育所で働く間、子どもたちは私のことを「先生、先生」と

呼んでくれ、先生として 働くことを誇りに思いたのたちのために一生懸命働こう、ともからしてもからを動強を奮いませました。1992年の間、毎週七日間の2年の間は生間の2年の間は生間の2年間での強強をできるできました。1964年の1世ど校ででもないでもないできました。1996年の1世とができました。1996年の1世というでもないでもないでもないでもない。

CYR はカオイダンと いう難民キャンプで幼い 子どもたちのために働い ていましたが、タイとカ ンボジアの国境にあるパ ライ村にもきて国境地域 の保育所のグループ作りをしていました。CYRのタイ人スタッフが作ったこの団体をデック DEC Development and Education for Children と呼んでいました。デックは私たちと、子どもの成長・発達に関する知識や保育所での活動をどのように展開したら良いか、保育教材を作ったり、給食づくり、豆乳作りや子どもの成長にとって役に立つことを一緒に活動しました。そしてその間、アランヤプラテート郡とサケオ県の保育所のネットワーク作りに力を入れました。

パライ村から移って、現在、新パライ村の保育所には4名の先生がおり、63名の子ども達が通ってきています。建物、保育教材、清潔な環境、働く人の宿舎、奨学金などの制度も整い、行政の元での人材の確保をするために以前より多くの政府のサポートがあります。ですから保育者の仕事は安定しています。デックの

サポートは終了していますが、彼らのことは忘れず、いつも思い出しています。いくつかの保育所には、子どもの発達や保育教材の作り方のハンドブックが残っています。サケオ県の保育者一同、デックと CYR に対し、私たちの村にきて私たちのために一緒に働き、様々な面倒を見てくださったことに感謝しています。

CYRから得た経験と保育所で過ごす 長い間、子どもの成長に関する多くの問題を経験したことから、子どもたちは 日々成長し、保育者は強い意欲を持って 彼らに親切に寄りそうことで、子どもた ちの良いモデルになれるという確信が持てるようになりました。

いつか日本を訪れることができれば嬉しいです。



# 村の子どもたちの成長を楽しみに

プレイタトウ保育所 チューン・マーチ

プレイタトウ保育所を25年余りも日 本の皆さんに支援をして頂き、運営でき たことで、親たちは子どもを預けて安 心して仕事に出かけることができまし た。子どもたちは1日3回給食を食べて、 集団牛活に慣れ、いろんなことを学び、 精神的にも体力的にも成長しました。子 ども同士がコミュニケーションを取り、 態度や性格も変わってくるのが良く分か りました。礼儀正しく丁寧な言葉を使う ようになり、明るく思いやりを身につけ 成長していきました。また小学校の先生 には幼稚園に通っている子どもはルール をちゃんと守るので教えやすい、よく勉 強ができると言われます。そして学校を 途中で辞めたりしないです。卒園児は医 者、伝統的産婆、看護師、学校の先生、 エンジニアとして働く人もいれば、IT などの会社、銀行、公務員、工場などで 働く人もいます。皆それぞれ立派な什事 について良い収入を得ていることがわか り、私も嬉しいです。地域の方々、村の 人、役所の人たちもみな日本の皆さんに 年分の給与の支払がありました。給与が 感謝の気持ちを持っています。

地区長や村の人たちにも、いろいろと協力して頂きました。園舎や塀づくり、遊具作り、子どもの給食作りの手伝い、お米・醤油などの寄付、それに保護者からは協力金を払ってもらいました。そして自主運営するために、お米、野菜づくりや魚の養殖にも協力していただきまして使い、残りを売る予定でしたが、大きくなどとまれてしまいました。お米を値段が安いときに買って高いときに売るビジネスを考え、まとまった量のお米を買いましたが、値段が上がらず儲けられなかったという残念な出来事もありました。

2017年4月から CYK が地区評議会 なり、村の人から土を埋めてもらったこ



と委員会に保育所の運営・管理を移行し た後、いろんなことに困りました。地区 評議会からの手当は月に75ドルで、年 に9ヶ月だけでしたが、2018年には教 育省のスタンダードの地域幼稚園として 認められたので地区評議会からの手当が なくなり、年末にまとめて月\$150の1 出るまでは牛活するのが大変でした。毎 月払って欲しかったです。給食係の手当 は地区評議会の予算にはなかったので保 育所の貯金を使い、3年でなくなってし まいました。親にひとり月2.50ドルの 協力をお願いしましたが、出してくれた 親は数人しかいなかったので、自分の給 料から手当を分けています。今は保育 者が一人なので、給食係が休みのときに は、給食作りをしながら子どもを教える ので大変です。寄付して頂いたお米がな くなったら、普通の半日の地域幼稚園に 変える予定です。また保育所の運営費が ないので、教材や外遊具の修理費は自分 で出さなければなりません。周りの家が 盛り土をしたので、保育所の土地が低く

11

ともありましたが、長く雨が降ると床が 水浸しになり教室が使えません。

もともと私は高校へ行きたかったのですが、高校へ行くにはプノンペンまで行かないといけないし、生活も大変だったので、両親の農作業を手伝っていました。そして思いがけず、1992年1月にカンボジア女性協会から話があったので、プレイタトウ保育所で働き始めました。

また、CYKの支援でいろんな研修会に参加する機会があり、他のNGOの運営する保育所の先生と交流会がきっかけで今でも時々話をしています。さらに日本やタイ、モンゴルへの研修にも参加でき忘れられない経験となりました。保育者の仕事にも自信を持ち、誇りを持つようになりました。

私は子どもがいませんが、毎日子どもの賢くてかわいい様子、踊りや歌、話も聞いています。この幼稚園を卒園した人の子どもが通ってきて、子どもの成長を実感できるのはとても嬉しいことです。つぎつぎと子どもが生まれているので、この保育所は運営形態が変わっても、なくさず続けていきたいです。

# 多くの子どもが学ぶトロピエンスバイ小学校

トロピエンスバイ小学校 校長 モム・サムオン



トロピエンスバイ小学校の校舎は CYKを通して日本の熊田知恵さん、自 治労福岡・鹿児島・熊本県本部のご支援 で建てて頂きました。2004年~2005 年に2階建3部屋の1棟目が建ち、幼 稚園の子ども、小学1・2年生の子ども 125名を受け入れ、先生3名で教えました。2007年~2008年に2階建6部屋 の校舎が建ち、6年生までの560名の 子どもを受け入れ、先生14名で教える 全学年がそろった小学校になりました。 私は2012年9月にルッセイケオ郡の別 の小学校からトロピエンスバイ小学校 に転勤になり6年生の担任として働き、 2019年7月にプノンペン市教育局局長に CYK は朝給食プログラムや健康診断・歯科検診も支援しました。先生も生徒も毎日、朝のおかゆが食べられるようになり、5・6年生の生徒は栄養ワークショップで栄養があって安く作れる食事について勉強し、実際におかずを作ってみんなでお昼ご飯を一緒に食べました。自分たちで作った食事を皆で美味しそうに食べていたのを覚えています。学校で朝のおかゆを食べられることを聞いて、隣村の子どもも登録してきました。健康診断や歯科検診では、学生だけでなく先生や地域の貧しい人も薬をもらうことができ、歯も治療してもらえました。

2019年7月にブノンペン市教育局局長に 子どもはトロピエンスバイ小学校に る子もいます任命されて、同校の校長を務めています。 通ってから健康になり、体が強くなりま 子もいます。

した。元の校長先生はサッカーの先生だったので、全国でも少ない女子のサッカーチームを作って、サッカーを教えました。朝給食や歯科検診などいろい取り組みもあり、生徒数が増えて今では800名近くになりました。そして保護者、地域の方々のみならず市の教育局長からも褒めて頂きました。保護者は子どもの教育に関心を持つようになり、ほとんど子どもを学校へ送っていて、家でも子どもに教えたりするようになりました。

京科検診では、学生だけでなく先生や地 トロピエンスバイ小学校の卒業生の生成の貧しい人も薬をもらうことができ、 活状況も良くなってきています。仕事を している子もいれば、大学で勉強してい 子どもはトロピエンスバイ小学校に る子もいます。そして先生になっている そってから健康になり、体が強くなりま 子もいます。

以前と比べたら、トロピエンスバイ村の人々の生活は大きく変わりました。いるんな面で良くなっていますが、トロピエンスバイ小学校ではまだ困っていることがひとつあります。学生数が増えて1クラスに60名、70名の生徒がいますので、教室が足りません。日本の皆さんに支援して頂いた最初の頃を考えると、想像もつかなかったほど、子どもがたくさん通う学校になっています。

最後に皆さんにご長寿、ご健康、ご繁栄、ご多幸とご健勝(仏教の祈り)を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。



# 働く親を支えるプノンペン スラムの保育所

バンチューク保育所 チェア・キムヒァン

私は37歳、バンチューク保育所の保育者として働いています。保育所に通ってくる子どもはほとんどが貧しい家庭の子どもで、電車の線路近くと川近くの不衛生な環境に住んでいます。親は仕事に出かけるとき、隣の人に頼んで子どもを家に残しているので、交通事故にあったり川に落ちる事故がおきたりすることがよくあります。実は、私が保育者になったのも、病気がちだった娘の面倒を見てくれる人がおらず、保育者の仕事なら、子どもの世話をしながら仕事ができるし、収入も得られると思ったからです。

保育所の仕事は6時30分から17時

康診断をしています。カンボジアの医者ならよく薬を出しますが、外国人の医者はあまり薬を出しません。健康についてアドバイスし、衛生について指導します。月に1回は虫歯のある8人の子どもを連れて、歯科検診にもいきます。3ヶ月に1回は保護者会で子どもの成長に関する知識、栄養、環境衛生などについて説明します。それにケマラ(地域NGO)は教育省幼児教育局の方を講師に、6ヶ月に1回保育者全員が参加する研修会を開いています。しかし今年はコロナウイルス感染症の影響で3月中旬から保育所を閉め、すべてのプログラムも中止になっています。

最近は子どもの家で、少人数の子どもを集めて教えています。そして時々家庭訪問をして病気に感染しないように、保護者に衛生環境・教育、健康的なケアする方法について説明しています。子どもが保育所に来ないと、親からの協力金が集まらないので、保育者の給料が払われず、最近やっと給料の一部をケマラから



> (CYR: 残念ですが、バンチューク 保育所は 2020 年 11 月をもって閉所しました)

# 夢をあきらめずに

タクマオ幼稚園 園長 トング・ソヴァンネイ

私はポル・ポト政権になる前、高校の2年生でした。父は小学校の先生で、給料が良かったし、格好が良かったので、自分も先生になるのが小さいときからの夢でした。ポル・ポト時代が終わってから、タクマオ幼稚園の先生として採用され1979年12月30日に働き始めました。1993年に園長として働くことになり、2001年に正式に園長に任命されました。政府の定める保育者の資格は高卒なので、仕事をしながら勉強を続けて2014年に高校を卒業することができました。来年の2月で60歳になります。

昔と違い先生の給料はすごく安く生活するのが中々大変でしたが、政府が給料を上げることを期待しながら、夢をあきらめないで、続けて努力しました。政府の予算は少なかったので、幼稚園の施設設備の改善、保育者の研修、子どもの教育環境、保育教材などを揃えるために、色々なところに寄付のお願いに行きましたが、なかなか寄付をしてくださる方がいませんでした。

運良く、2004年から10年間ぐらい、 州の教育局幼児教育事務所を通して、州 のモデル幼稚園だったタクマオ幼稚園に CYKから活動環境の整備、建物・トイレの修理、手洗い場、外遊具の設置、特に研修のための場所作り、保育教材の支援をして頂きました。州内の先生たちの研修の場として活用できる研修の部屋ができ、子どもの活動をビデオ収録で見る研修、教材づくり、そして州内の郡ごとの研修会もテーマを決めて実施できるようになりました。

幼稚園の環境が良くなると、先生も自信を持って子どもに教えることができました。また朝の体操で「アブラハムの7人の子ども」の歌にあわせて、子どもが運動しているところを見た親から褒められ信用され、幼稚園に協力する親が増えてきました。子どもの登録人数もだんだん多くなり(400人以上)、先生も私も、もっとやる気が出るようになりました。

この2年間ほどで幼稚園の建物の老朽化が目立つようになり、レンガが落ちてきたりして危険でした。下水システムが良くないので、雨が2時間以上降ったら、汚水があふれ、壁からも水が漏れ、教材が壊れたりしました。そこで2019年4月にカンダール州に住んでいる建設会社の社長を訪ねて、クラスのペンキ

塗りをお願いしました。仕上がりを見に 来た社長はペンキを塗ってきれいになっ ても建物が古く危険だと感じ、彼女の子 どもが4人ともタクマオ幼稚園に通っ ていたので、お礼として2階建て15部 屋の建物を提供するとその場で言われま した。副園長と私は何とも言えないくら い、涙が出るほど嬉しく感じました。そ の後すぐに相談した州の教育局局長は公 立幼稚園の建物の立て直しには教育省の 大臣の許可を取らなければと言って、幼 児教育事務所の所長をよび手続きを指示 し、建物ができるまで教育局の空いてい る建物を幼稚園として利用できることに なりました。手続きを始めて9ヶ月、やっ と7月に教育省の大臣がサインをしまし た。もうホットして安心し、眠れるよう になりました。1年後に新しい建物がで きるので、とても楽しみにしています。

私は一生自分の夢を諦めず大変な生活をしながら、頑張って子どもたちを育ててきました。来年2月に退職しますので新しい園舎で仕事ができないのは、非常に残念です。素晴らしい園舎を次の時代に残すことができて、たいへん誇りに思っています。

# THE TAXABLE PROPERTY OF THE PR



## 地域での問題を乗り越えて

トロピエンクロラン村 地域幼稚園 保育者 イェム・ホァン

私は2013年からトロピエンクロラン村幼稚園の保育者として働いています。中学校3年で、家族の生活を支えるために学校を辞め、両親の農業を手伝いはじめ、その後、縫製工場で働いていたときに、地区長と村長に「村の幼稚園」の保育者になるよう頼まれました。子どもの教育にも興味があるし、家で仕事ができること、そして主人も応援してくれたので、工場を辞めて、保育の仕事を始めました。CYKからは月に\$40、地区評議会から月に約\$10の手当をもらいました。

2017年にCYKが地区評議会と委員会に運営責任を移行した後、地区評議会から月に約\$50が払われる約束でしたが、払ってもらえませんでした。地区長のアシスタントが地区評議会の予算を使い込んでいたのです。地区の12名の村長や地区長の手当も全部です。郡の教育担当者、地区長、地区評議会のメンバーが協力し合って解決手段を検討しましたが、彼からお金を取り戻すことができませんでした。親からの協力金も集まらず、生活に困って、辞めたいと思いましたが、

ちょうど選挙運動で村に来たロンポン地区の人民党の代表が保育者たちの訴えを聞き、自分のお金で一人約\$125を払ってくれました。1年以上たって、お金を使い込んだ地区長アシスタントは逮捕されたそうです。

2018 年に政府が始めた地域幼稚園の スタンダード認定制度に地区内の3ヶ所 の「村の幼稚園」を申請すると郡の幼児 教育担当者は話していました。私の幼稚 園は集会所を利用しているので申請条件 が揃わなかったのですが、手当の未払 いの問題もあったことから、どうしても 教育省の認可を取らなければと思ったそ うです。だからトロピエンクロラン村か ら3-4キロ離れている小学校の校長先 生に小学校の1部屋を幼稚園として利用 させて頂くように必死でお願いし、協力 して頂くことに決まりました。教育省の 評価で地域幼稚園の認可をとれたので、 政府から直接 2018 年には月に \$ 150、 2019年には月に\$162.5を受け取れる ようになりました。地区評議会の予算か らも月に約\$50を頂いています。

幼稚園を小学校の中に引っ越してから、トロピエンクロラン村だけでなく他の2つの村からも43名の子どもが登録しました。足りない子どものテーブルや椅子も保護者が協力し合って買ってくれました。ちゃんと子どもを幼稚園へ送り迎えして、子どもの教育に関心を持ち応援しています。校長先生と先生たちも幼稚園の仕事に協力的なのでとても嬉しくやる気がもっと出るようになりました。

幼稚園に通っている子どもは幼稚園に送ってもらった親にも「ありがとう」、「勉強に行ってきます」と自然にいつも言うようになりました。学校でも外でも先生に会ったら、ちゃんと挨拶します。小学校の先生も学校内に幼稚園ができてから園児の数が増え、教えやすくなって楽になりました、と言ってくれました。

幼稚園クラスとして使わせて頂いている部屋は広いですが、古いのでドアと窓が壊れて、セメントの床はところどころ穴ができています。校長先生に修理をお願いしましたが、予算がなく、まだ修理できていません。子どもが毎日勉強しに来たい、遊びに来たいきれいな幼稚園にしたいです。

最近、この地域には依存性薬物の問題があります。特に学校にあまり勉強しに来ない子どもは薬物に関わっていることが多いので、とても心配です。けれども、これまでも色々な問題を地域の人々が協力して乗り越えてきました。これからも、地域の子どもたちには全員幼稚園に来て、小学校に進学したあとも長く勉強して問題に巻き込まれないようにしてほしい、将来家族の生活を支えながら、社会にとっても国にとっても良い人材になって国を発展させていって欲しいです。



© 高橋智史

# 織物の仕事をつづけていきたい

織り手 アム・サエ



私は5人兄弟の4番目です。今年35 歳になりました。小さいときから学校へ 行きたかったのですが、家族の生活が大 変だったので、両親に小学校へ行かせて もらえませんでした。両親は農業の仕事 をしていると聞いたので、すぐ申し込み 以外にアヒルを飼っていたので、アヒル ました。CYK のボパーさんとスーン・ の世話は私の仕事でした。

1997 年に 12 歳になったとき、織物 の仲買人をしていたウム・ソーさんのと ころヘクロマー織技術を習いにいきまし た。クロマーや絣などの織り方を勉強し、 7年間絹絣や絵絣などを作ってソーさん に売りました。売ったお金は糸や材料な どの費用を引いたらほとんど残らず生活 の助けにはなりませんでした。同じ村に

徒の募集があれば教えてもらいたいと頼 みました。

ミットさんの面接があり採用されたの で、研修会に参加することができました。 最初のコースは帯コース、その後帯織り の仕事がなければ、絣織の注文を受けら れ、そして伝統絵絣研修ピダンコースに 2回2年間参加しました。簡単な模様か ら難しい模様、特に草木染の技術を勉強 しました。

参加したのは既に織りをすることがで

た人からセンターの研修の話を聞き、牛 (そうこう)づくりと筬(おさ)とおし の技術は勉強しませんでした。今もでき ないのでこの作業は他の人に頼まなけれ 2004年に織物センターで牛徒の募集 ばなりません。

研修では、研修資材は CYK が全部用 意してくれたので、糸などを先に買う必 要がありませんでした。いろんな技術を 身につけながら、多くの収入になりまし たので、生活がとても助かりました。そ れにセンターでの研修に参加したのが きっかけで良い結婚相手を見つけ、可愛 い娘を持つようになりました。とても嬉 しいことです。CYK のお陰で、自分の 生活・人生が良い方向に変わってきまし た。いろんな仕事にも誘われましたが、 住んでいた織物研修センターに通ってい きる上級の技術研修でしたので、綜絖 難しくても、ずっと CYK と一緒に働き

たいと思っています。

ターの研修生がたくさん織物を辞めて、 様を作れて、収入も多くなります。だか 工場へ行きました。私も何回も誘われま したが、断りました。工場では40歳以 上の人はあまり採用されない、採用されが、娘は医者になりたいと言っています。 ても掃除の仕事しかないので、工場で働 く事は全然考えたことがないです。ずっお父さんに点滴をつけたり、おばあちゃ と織物を辞めないで、続けたいと思ってんに薬をあげたりして遊んでいます。娘

います。織物は何歳までもやれるし、や タケオ州に工場ができたとき、セン ればやるほど技術が高くなり、難しい模 ら仕事があるかぎり続けたいと思います。 持って欲しいです。

> 娘にも織物をやって欲しいと思います 今でもおもちゃで、自分が医者になって、

の夢を経済的に実現させてあげられるか どうか今のところ分かりません。もし医 者の勉強ができなければ、織物に興味を

# タイの難民キャンプからひらけた今

カオイダン難民キャンプ スタッフ キナル・ラタナ・ベトゥイ

1979 年のポル・ポト政権の崩壊の後、 は、私を学校の校長をしている友人のと 勉強を続けられるよう頼みました。私は 母に難民キャンプへ行きたいことを話 し、母は、お金と自分のネックレスを私 にくれました。

く、その日は友達の家に泊まると言ってンプを押してくれました。 家を出ました。早朝バッタンバン行きの バスに乗って、遅れていた何人かの乗客 を待っていたそのとき、父の車が見え、 車から降りた父が母にこのバスに私が 乗っていないかチェックするよう、自分 は別のバスを見るからと言ったのが聞こ えました。母は私が乗っているバスに来ければなりませんでした。 て私を見つけ自分が巻いていたクロマを 私の頭にかぶせました。私は母に自分は、 カナダにいるおばさんのところに行くと 約束しました。泣きながら心の中で、父 の期待通りに一緒に家にいて勉強するこ とができずにごめんなさいと言いました。

1984年にようやく無事にカオイダン難 民キャンプに到着することができました。

2週間後に私は CYR で仕事を見つけ 1988 年までの 4 年の間 CYR で仕事を しました。その後3ヶ月カナダの定住審 **杳チームで働いた頃、タイのラジオから** 

タイ政府は難民キャンプを閉鎖し難民を 少しづつ色々なことが始まりました。父 母国へ返すというニュースを聞きまし た。私は叔母のいるカナダに定住した ころに連れていき、学校への受け入れ、 かったのですが、まだ3ヶ月しか働いて いなかったので、顔見知りだったフラン ス人の担当者にフランスへの定住をした いと話すと私の書類を見て英語とタイ語 を話すし私にタイ人ではないのか聞かれ 1983 年に私は父に、友達に会いに行 ましたがその場で、定住審査結果のスタ

> 私たちを乗せた飛行機がオルリー空港 に到着したときのことを良く覚えていま す。全てが新しくとても興奮していまし た。独身の男性にとってパリでの牛活は 住むところ、アパートを探すのが、とて も困難でした。何度も住む場所を変えな

> 最初はアジアの人が多く住むパリの 13 区で、レストランにケーキを配達す る仕事やホテルの朝食を出す仕事をしま した。1年後の1991年に私は銀行関連 の新しい仕事を見つけ現在までその仕事 を続けています。夏の長い休みには大学 生になった子どもたちを連れプノンペン に住んでいる両親に会いに帰っています。

タイの難民キャンプにあった CYR の 保育センターでは先生が子どもたちに食 事やおやつの前にはいつも手を洗った り、毎日水浴びをさせて清潔にする指導





をしていました。数の数え方、クメール 語のアルファベット、母音や子音の読み 方、動物や樹、果物についてなども教え ます。このようなキャンプでの教育はカ ンボジアの子どもたちだけでなく世界の 子どもたち、世界のどの難民の子どもた ちにも必要な教育だと思います。

# 幼い難民を考える会40周年記念におもうこと

元保育士 山極小枝子





保育所の仕事を定年前に退職した私 は、会員ではあったもののずっと疎遠 になっていた CYR 事務所を訪れまし た。その後ボランティアをしているうち に、カンボジアに行ってみてきてほしい と声をかけていただき 2000 年 9 月から 2010年3月まで保育事業担当としてカ ンボジアで働きました。人々が難民キャ ンプから帰還して8年後のころでした。 プノンペン空港の滑走路は未整備で着陸 時はとても怖かったですし、飛行場から 市内への道はでこぼこ道で夜は薄暗く その道端には屋台が点々と並んでいま した。日中でも信号がほとんどないので、 バイクやトゥクトゥクでいっぱいの道路 を歩いて横断するのはとても難しく初めて のプノンペンは緊張感でいっぱいでした。

CYRの仕事はカンボジアの人に引き 継いで行くことが最終目標です。

保育事業では、CYR が運営する保育 所の自主運営計画、プノンペンにある現 地 NGO の保育所支援、カンダール州や 教育省から依頼された保育研修、小学校 の朝給食支援などなどでした。どの支援 も就学前の子どもたちの人権を守りたい という想いのこもった支援でした。

特に保育研修支援では、教育省には立 派なカリキュラムがあるものの実践現場

には予算はなく、各州にある数少ないモ デル公立幼稚園だけは何とか整ってい るというのが実情でした。CYR の保育 研修支援の目的や内容はそのカリキュ ラムに沿ったものによるものではなく、 子どもたちが好きな教材をカンボジア に合わせて作り、その目的と使い方を 伝えながら子どもの理解につなげてい く方法でした。

難民キャンプで復刻した絵本や歌絵 本、人形やボール、車パズルも加えまし た。各地域に出かけて行って直接、現場 の先牛たちとひざを交えてその教材遊具 の目的や使い方を説明し、すぐそこで先 生同士で使ってもらいました。村に持ち 帰って先生が子どもたちとあそんだり、 子どもがひとりで又はグループで繰り返 し操作しながら喜んで遊ぶ姿を先生に観 察してもらいたかったのです。翌年は フォローアップに出かけて行って子ども たちが遊ぶ様子も見学させてもらい話し 合いました。以上のやり方は、後には教 育省のスタッフと一緒にカンボジアの各 州にも広げて研修会を行うようになりま した。異国の地で支援をするときに気を つけなければならないノウハウを CYR は大切にしてきたことを再確認できま す。コロナ禍での各国の受け止め方、考

え方の違いを見るにつけ他国支援の什方 の難しさを改めて感じています。

幼児期にどんな過ごし方をしたかは、 ひとの一牛の中でとても大切だといわれ ます。だからこそ CYR は就学前の子ど もたちの支援をしてきました。学ぶこと の楽しさを知った子どもたちがその後の 牛活の中でも牛き牛きと過ごしているこ とでしょう。

最後になりますが、カオイダン難民 キャンプから40年、ほとんどの時間を 現地で過ごされ支援の先頭に立って来ら れた関口さんは3年前に帰国されまし た。本当にお疲れさまでした。プノンペ ン事務所 CYK 代表のスレイさんとキャ ンプ時代からのブントアンさんに託し、 これからもカンボジアスタッフは「村の 幼稚園」をもっと増やしていこうとして います。40年前に始まった支援が多く の人々の物心両面からの支援をつないで 地道に、着実に、忍耐強くここまで来ら れたことを共に感謝したいと思います。 財政的には CYR から完全に独立して運 営するにはまだ時間がかかりそうです が、40年間支えてくださった多くの方々 の想いを信じて 41 年目も一会員として 共に歩んでいきたいです。

# 大きな災害が起きたときは子どもたちに安全な居場所を

災害子ども支援ネットワークみやぎ 代表世話人 / NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林純子





私は30年ほど前から、子ども・子育 て支援や、18 才までの子どもがかける 電話「チャイルドライン」の活動などを 行っていました。東日本大震災が起きた とき、私たちの拠点がある仙台市は、ラ イフラインが一時ストップしましたが、 津波被害の様子がわかってくると、自分 たちは「被災した」とはとても言えない という思いで、沿岸部の支援を行うため 「災害子ども支援ネットワークみやぎ」 を組織し、今日に至るまで活動を続けて います。

震災後、託児室運営の資金や保育セット、 車両の提供など、大変多くのご支援をい ただきましたことを、心より御礼申し上 げます。このときいただいた乗用車は今 でも現役で被災地に出かけています。

震災直後、避難所を訪ねると、子ども たちは静かにしていることを要求され、

片隅で小さくなって過ごしていました。 しばらくして、子ども支援、学習支援団 体が子どもたちの居場所を作ってくれる ようになると、子どもたちに笑顔が戻り ましたが、そのような場がすべての避難 所にあったわけではありません。仮設住 宅に移っても、周囲は駐車場となってい て外遊びもできず、集会所も、子どもた ちが自由に使うことを許されていたとこ ろはそう多くはありませんでした。その ような中で私たちは、子どもにとって遊 びがどんなに重要かを、避難所や集会所 「幼い難民を考える会」の皆様には、 の責任者に訴えて、1日2時間ほどを子 どもの居場所にする活動を各地で行いま した。その際には「幼い難民を考える会」 から贈られた保育セットが大活躍しま した。

> また、当時仙台市は保育所待機児童数 が全国ワースト2であり、被災沿岸部か ら転入してきた方や福島から避難してき

た方が、子どもを預けることができない ため働けないという状態でした。そこ で、私たちは「幼い難民を考える会」の 方たちに、被災した方たちを託児スタッ フとして養成して雇用し、お子さんを預 かる託児室を設置するという企画をお伝 えして、その費用も支援していただきま した。被災して家も仕事もなくした方た ちが、お子さんを預かって人の役にたっ ていることで元気になっていく様子を見 られたこと、子どもを預けて安心して働 けるようになったと喜んでいただいたこ となど、ここには書き尽くせないほどい ろいろなことがありました。

震災から9年を経過した今年の4月、 宮城県で最後の仮設住宅が解消されまし た。このように長い期間「仮」の生活を 続けられた方たちのご苦労はいかばかり だったでしょうか。ハード面の復興は 着々と進んでおり、それを喜ぶ声もあり



ますが、生まれ育った町が、まるで知らない町のように変容していくことへの戸惑いを持っている方たちもいます。「心の復興」はまだまだ先になることでしょう。

昨年、私たちは、被災を経験し現在子育で中の方たちからアンケートをとりました。当時小学校5年生~高校生の方たちです。その中で気になったのは、まだ震災後の心の傷が癒やされないまま、子育でをしている母親たちの声でした。身近な人を亡くした悲しみ、地元を捨ててしまったことへの後ろめたさ、また同じような災害が起きて自分や子どもが被災するのではないかという不安などを抱えながら日々を送っている様子もうかがえました。一方で、震災直後、居場所があり、支援者に守られた経験がある人たちは、震災から得た経験を前向きにとら

える傾向があることに気づきました。私 たちはこのような気づきから、「大きな 災害が起きたときは子どもたちの安全な 居場所をつくる」ことを考えてほしいと 提唱しています。最近は、各地で災害が 起きている中で、子どもたちの居場所が できたというようなニュースが流れるこ とが増え、その重要性が認識されてきた とうれしく感じています。

ところが今、せっかく立ち直りかけている被災地に、新型コロナウイルス感染症の流行が暗い影を落としています。親の仕事がなくなったり、自宅待機となって困窮する家庭が増加したり、アルバイトで進学資金を貯めていた子のアルバイトがなくなったりという問題も起きています。今回、急な休校によって中学校の卒業式ができなかった子どもたちは、東

日本大震災のときに幼稚園の卒園式ができなかった子どもたちです。人生で2度もこのような体験をするなどとは誰が想像したでしょうか。

しかし、嘆いてばかりはいられません。 あのような災害を経験した私たちだから こそできることがあることを信じて、各 地で発生している豪雨や台風被害の際 に、少しでも力になれるよう、活動を続 けていくつもりです。それが「幼い難民 を考える会」の皆様から受けたご恩をお 返しすることにもなると思っています。 震災後の様々なことを「忘れる」ことは できませんが、一人一人が、少しずつ、 自分の心に落とし込んでいく作業はこれ からも続いていくことでしょう。

## 織物事業のボランティア活動

CYRボランティア 奥山 直子

幼い難民を考える会にボランティアと して私が関わるようになって、もう十数 年になります。会の織物事業に携わる間 の体験、印象などをまとめてみます。

会には二つの活動があり、一つは子どもの保育、そしてもう一つは女性の自立支援です。織物事業で扱っていた製品はマフラー、袋物、数種の動物マスコット、生活小物から衣服等々で、年を重ねるごとにその種類と商品数は増えていきました。ボランティアの仕事としてはカンボジアから届いた製品数のチェック、生地の織りムラ、染めムラ、シミや汚れ、

縫い目の良し悪し

度現地へそれらの状態を伝え、日本人購 買者が納得する製品レベルにまで品質の 向上に努めたのは当時の各部門担当者の 努力によるものと思っています。

活動を通して興味深かった思い出の一つに価格ラベルの裏側に現地の織り手の顔写真と共に彼女らが製品に込める想いや生活ぶりのコメントを数行の文章で載せたことです。自分たちが自立した生活の為に必要な現金収入を得ることができて嬉しい、という内容が多々あったと記憶しています。手にした日本人女性にカンボジア農村部の女性の声を届ける一助になるスタッフからの良い発案だったと

思います。企業等が社会貢献の一環として開くチャリティ・バザーやデパートの催事への出店の機会も年々増えました。お客様の中にはCYRのこの製品が欲しい、と足を運んでくださるリピーターの方も多く、良い製品は人を引き付けるもの、と思いました。回を重ねるごとの好調な売り上げと共に、その製品数は増し、半期に一度の事務所スタッフ総動員での棚卸にはボランティア達も参加しました

数年前、織物事業の新しい試みとして、 藍染めプロジェクトが始まりました。自 に端から端まで見ていると、藍染めならではの美しさとともに、織り手の技術の高さも伝わる作品で、どれも素晴らしい ピダンや帯に仕上がっていました。

この藍染めプロジェクトが不振がちになっていた織物事業のブースターになるのでは、との期待は私だけではなかったと思うのですが、今年度から会は織物事業から撤退するという発表に、私としては驚きと共に残念の思いの他ありません。私にとってこのボランティア活動はカンボジア伝統織物のピダン・絵絣を知る入口であり、黄金のクメール・シル

クのこと、織物工 程のこと、そのと カンボジア人の生 活・文化など、これまで未知だった こととの多くのして 会いました。

40 年前、難民 キャンプで発足し た織物教室が内戦 終結後、織物技術 訓練センターへと



然染料のみでの染色に切り替えてから、 青い色を得るのに藍染めは欠かせない要素でした。日本から専門技術者を招き、 重なる試行錯誤に難航している現地の様子は事務所へ行くたびに耳にしたものです。成功にこぎつけたときのスタッフ皆様の喜びは大きかったことと思います。

藍染めピダンは絵絣の基礎となる糸のくくりの精巧さと染め、そして織りの技術のこれまでの蓄積あればこその賜物です。青の濃淡と白のみで巧妙に織り出された絵柄は 伝統を踏まえたものでありながら、色絵絣とは違うモダンな趣が印象的で、布いっぱいに拡がる絵柄を丹念

発展し、多くの女性たちを織り手として 世に送り出してきたこの事業は内戦で途 絶えかけた絹絵絣の復興、そしてその技 術の維持、向上にも寄与してきました。 2014年のカンボジア国立博物館でのピ ダン展開催はその努力の結実だったと思 います。プノンペンを再訪した折り、私 は常設展示となった数点を目にし、伝統 文化維持の一端を担っているこの会のこ とを誇らしく思ったことです。会から織 物事業が姿を消しても、本来なら国が率 先して支援すべき伝統文化の復興、維持 に多大な貢献をしてきたこれまでの会の 功績は残ることと思っています。

# チャリティ・バザー・グループ寄せ書き

私は 1980 年頃、会の役員をしておられたシスター廣戸に勧められ入会しました。

その頃ボランティアの活動の中でも大きな仕事は年2回のバザーでした。私の主な仕事は大型の物の引き取りです。オルガンや小学校低学年の机とイスも運びました。バザー当日、小柄な犬養道子さんがそれを使ってサイン会をなさったこともあり、大変好評でした。そうしているうちに25年経ち、2006年「チャリティ・バザー・グループ」という名をいただき事務所から会計が独立する事になりました。何処のバザーでもよその店の買物が楽しく、「三陸のウニ焼」や「ベトナムのフォー」がおいしかったです。年8回くらいのバザーと、有志による準備、どれも楽しいですが、本当の願いはカンボジアの保育園が早く自分達の力で運営できる様になる事です。

山田暢子



チャリティ・バザー・グループは教会・地域の催しに出展しています。集まった品物から会場に ふさわしい物を選んで値付けして持ち込みます。本物のピカソの版画が高値で引き取られたことも ありました。必要としていた物、欲しかったけれど買い忘れていた物など思いがけない出会いがあっ たり、バザーは楽しい時間でもあるのです。

朝野節子

CYR 総会のパーティーがあった時にバザーグループに誘われ、今日に至っております。バザー当日まで色々な動きがありますが、上野教会では新聞にチラシを入れたり、手書きのポスターを近所の商店やコンビニに貼らせていただく事も大切な仕事です。初めてお願いに行くのは勇気がいる事でした。カンボジアの子どもたちのためにという目的を共有できさまざまな出会いがあり、楽しみながら続けてゆく事が大事と感じています。

野澤冨美江

私が CYR ボランティアを始めたきっかけは、2000 年の読売新聞「バザー手伝い募集」の小さな記事からです。その時から稲見さん、新村さん、私の3人は今でも続いていていつの間にか20年。 一番印象に残っているのは、木箱に入った徳利とお猪口のセットでなんと柿右衛門の作でした。骨董好きの方に高額で買ってもらえた事です。

江藤正子

バザーグループに参加して一番嬉しかった事は泊りの旅行ができる友人を 50 歳すぎてから得たことです。元職員の長谷川恭子さんの沖縄・糸満市のペンションに4人で行きました。護国寺の事務所に行く時、ゴミ集積場に日本人形があり、あまりのきれいさにおもわずいただいてしまいました。聖心インターナショナルのファミリーデーで外国人のお嬢さんがお父様にねだって買ってくださいました。彼女の笑顔にたぶん人形もホッとしたと思います。会場への品物の搬入・搬出は体力的に大変です。売り上げによって翌日の疲労度が違ってくるのが常です。

新村真理子

バザーグループは春から秋にかけて出店します。4月は聖心インターナショナル。帰国時のお土産にと花瓶や陶器が好評です。5月はサレジオ教会。子どもが多くおもちゃや10円コーナーが人気です。6月の目黒教会。フィリピンの女性が多く、靴やアクセサリーを買ってくれましたが、よく値切られました。7月の田園調布教会と9月の宮代祭。目の肥えてる方が多く、確かなブランド物が買われました。10月みなと区民まつり。世界の食の出店もあり私達も楽しめました。二日間で人出も多く、売り上げも断然トップです。

10月末の上野教会。洋服やバッグの詰め放題。中国の方が多く、いながらにして中国の雰囲気が楽しめます。

宋美樹子

事務局がまとめていた頃には他の団体や学生さんが助っ人として来て下さいました。バザーの開催日が重なり、荷物の搬入や手伝いの人の割振りが大変だったと記憶しています。2006年から2019年の14年間で計¥8,260,586(毎年59万円位)を会に寄付してカンボジアの給食等に役立てていただいています。品物を寄付して下さった方、買って下さった方、値付や販売をお手伝いして下さった方々のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

松岡令子

# CYRのこれから

幼い難民を考える会(CYR)代表理事 関口 晴美



難民となった人たちが、人としての尊 態でした。難民キャンプでの経験をもと 厳や価値観を取り戻し、子どもたちを育 てていくという考えのもと、保育セン ターでの保育者養成が行われてきまし た。遊ぶ子どもの観察から子どもの世話 をする先輩を見習う方法で、保育の基本 ました。しかし家族の在り方や失われた いた後にカナダに定住したノブ・コムさ や子どもの発育について経験のある人が 信頼関係などあらゆる分野に今でも紛争 新しい人を教える現場での実践です。

人の移動が多い難民キャンプでは、保 育者養成の研修を終えたばかりの若者の ともよくあり、特に保育者の養成は必要 に応じて、繰り返しいつも行われていま した。

済的にも社会的にも大変厳しく貧しい状 ぶりを知ることができました。キャンプ たことが、その方々の人生に大きな励ま

に、キャンプではなく荒廃したカンボジ ア国内で、地域に根ざした教育を積み重 ねられないかとの思いで、1999 年からカ ンボジアの人たちと一緒に仕事をしてき の深い影響が残っており、特に失われた 人材の回復には長い時間がかかり、中心 となって働ける人材の不足など地域での 定住が決まり、キャンプを発つというこ取り組みでも困難な点が多々ありました。

この 40 年間ご支援頂いている事業が どう展開されているのか、子どもたちは どう成長しているのか、是非ご報告をと 難民の人たちが帰ったカンボジア国内 連絡をとりました。 プノンペンで仕事 た方たちは、それぞれの場で、それぞれ は、内戦であらゆるものが破壊され、経をしている間にもその子どもたちの成長

24

で牛まれ育った女の子と保育センターで 働いていた家族は、観光地のシエムリ アップに住み、長女のソコンさんは、日 本語の勉強をし、ホテルで働き、家族の 生活を支えていました。保育者として働 んの家族も、里帰りした時にキャンプで 育った高校生の娘たちを連れてプノンペ ン事務所を訪ねてくれました。織物の盛 んなタケオ州の村を歩いていた時に大声 で名前を呼んでくれたソティアさんは、 自分で考案した花柄模様の絹絣を見せて

CYRの仕事を通してつながりを持て の人生を今も懸命に生き、CYR に関わっ しや生きる力になっていることが感じらたほどです。 れ、子どもたちの未来への強い思いを実 感しました。

卒園児調査の結果を見るとプノンペン の訪問研修では、参 近郊の村では、大学まで勉強している子が一番が研修からとり どもが出てきています。「村の幼稚園」 入れたい点も見え、 でも保育者の中には高等学校を卒業した自分の幼稚園をもっ 若い人たちが何人かいるように少しずつ 変化がみられます。

しかしまだまだ「村の幼稚園」地域幼 稚園でも保育の質を高める、研修を充実 子どもの成長が実感 させることが求められています。今年実され、地域の人たち 施した10日間の「村の幼稚園」の保育 者のための能力強化の研修での出来事で 信を持って保育の仕 す。郡内の地域幼稚園の保育者たちを、 研修に参加させて欲しいと郡や地区評議 会から事前に要請がありましたが、費用 ていました。それにもかかわらず、窓の

「村の幼稚園」や 地域にある幼稚園で とよくしたいという 意欲が高まります。 親や地域の人たちに とともに保育者が自

いきたいです。

の面とコロナ感染防止のためもあり断っ 中、私たちの暮らしのあり方を見直し、 を伸ばしていきたい、プノンペン事務所 持続可能な社会にしていくためにも、今 と心を合わせ、これからも皆さんととも 外からでも話を聞きたいと10人あまりを生きている一人でも多くの子どもたちに進んでいきたいと思います。 もの保育者が研修当日会場に来てしまっ が安全な環境で安心して幼稚園に通える



写真(下) © 高橋智史



# 保育活動

子どもたちと保育者の"あの時、こんなこと"









- (左上) お姉ちゃんと一緒の給食 2010年 プレイタトウ村保育所 © 小林正典
- (左下) ヤシの葉で作っためがねをかけて 2006年 プレイタトウ保育所 © 小林正典
- (右上)目かくしあそび 2006年 バンキアン保育所 ©小林正典 (右下) 古タイヤであそぶ 2016年 バンキアン保育所







写真: © 高橋智史

#### 

2020 年は CYR カレンダーの製作販売、Cantate Domino 主催のグレゴリオ聖歌によるクリスマスミサの開催、共に見おくりとなりました。相次ぐお問い合わせをいただきまして、いつも楽しみにして下さっている皆様に一同感謝申し上げます。

#### 会費お振込・活動へのご支援は、下記までお願いいたします。

郵便振替 00110 - 8 - 36227

三菱 UFJ 銀行 六本木支店(普通) 1351747 特定非営利活動法人幼い難民を考える会

#### CYR のホームページをリニューアルします。

夏までにはスマートフォンでも見やすくなり、記事も更新します ので、ぜひ、ご覧ください。

> 幼い難民を考える会(CYR)は認定 NPO 法人です。 ご寄付は税制優遇措置の対象となります。

#### 子どもたちの明日 130 号 40 周年記念特別号

発行日:2021年1月31日 発行者:関口 晴美 紙面レイアウト:松下 旦

#### 特定非営利活動法人幼い難民を考える会 プノンペン事務所(CYK、2020年10月に移転)

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III,

#55, St.05, Prey Sala Village, Snagkat Kakab, Khan Posen Chey, Phnom Penh, Cambodia.

TEL: (+855) 23 882 972

Email: info@caringforyoungkhmer.org URL: www.caringforyoungkhmer

#### 東京事務所(CYR、2020年8月に同ビル内で移転)

〒110-0016

東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3B

TEL: 03-6803-2015 FAX: 03-6803-2016 Email: info@cyr.or.jp URL: http://www.cyr.or.jp/